

プロジェクト開始前との比較（美国茶津地先ベースライン）

プロジェクト開始(H21 年)前の H18 年 9 月の衛星写真との比較を下図に示す。防波堤前面の岩礁の前の平磯や、入江内の浅場では、現在に比べ海藻が繁茂しておらず、磯焼け状態となっている様子が見て取れる。これらの状況から、プロジェクト開始前のベースラインをゼロと設定した。

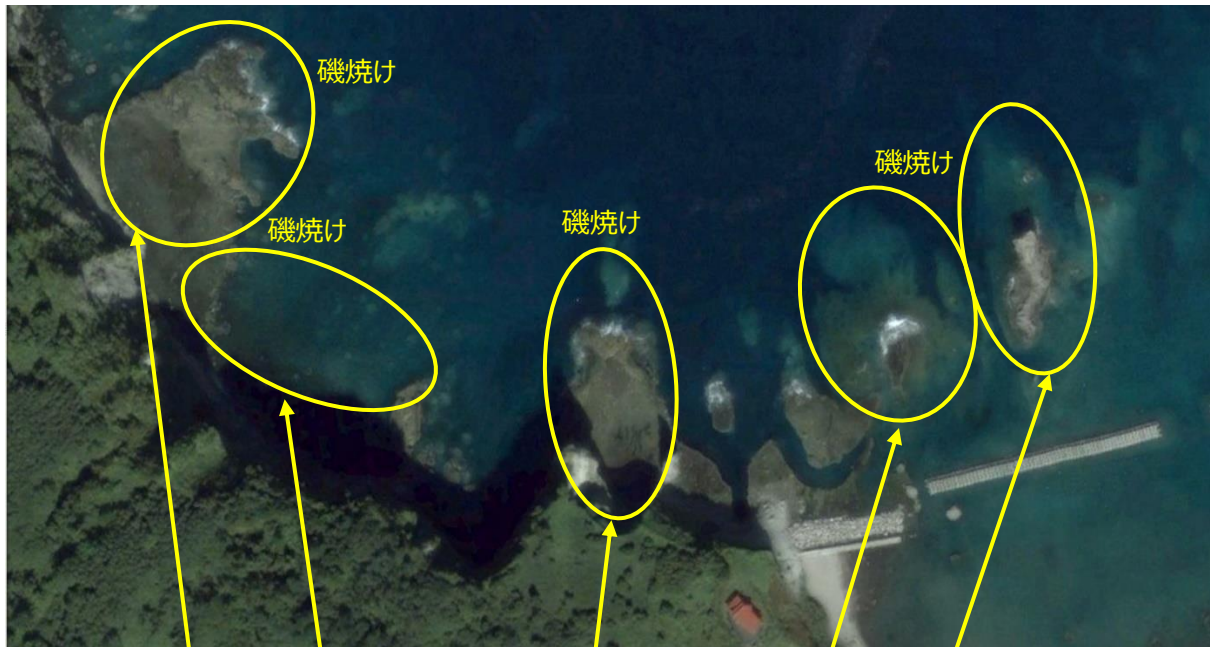


図 1 衛星画像（美国地区茶津地先、平成 18 年 9 月撮影）

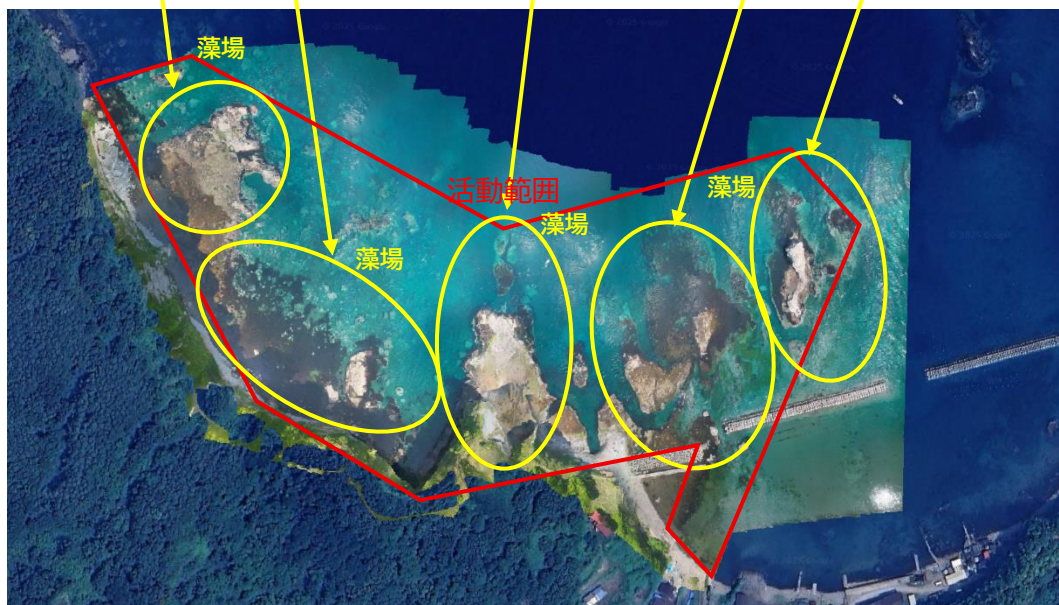


図 2 現在のドローン撮影画像（美国地区茶津地先、令和 7 年 5 月撮影）

参考にウニ移殖プロジェクト活動初期の H23 年 8 月の写真を次ページに示す。空撮は斜め写真ではあるが、入江内の浅場が磯焼けとなっており、藻場は汀線際に張り付いている。

水中部では、ウニ移殖が進んだ箇所ではコンブが密生しているが、ウニ移殖プロジェクト活動範囲外ではウニが密集し、殆ど海藻の生育は見られていない。



図 3 活動初期の頃の空撮画像（美国地区茶津地先、平成 23 年 8 月撮影）

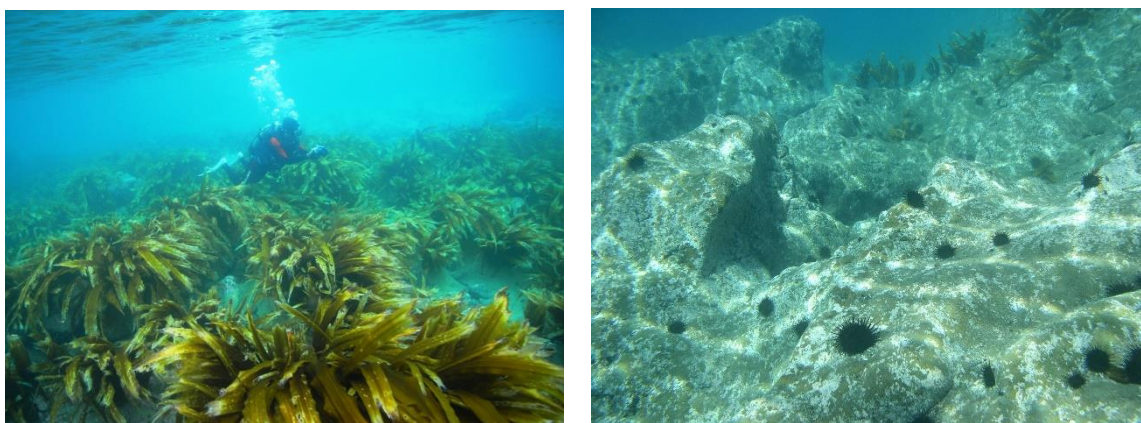


図 4 活動範囲内(左)と範囲外(右)の水中画像（美国地区茶津地先、平成 23 年 8 月撮影）

プロジェクト区域外との比較

ウニ移殖等の効果が及ばないプロジェクト活動区域外では、同程度の水深の平磯においても磯焼けとなっており、ウニ移殖等を行わないと藻場の形成が望めないことが伺える。これらの状況から、プロジェクト区域外のベースラインをゼロと設定した。

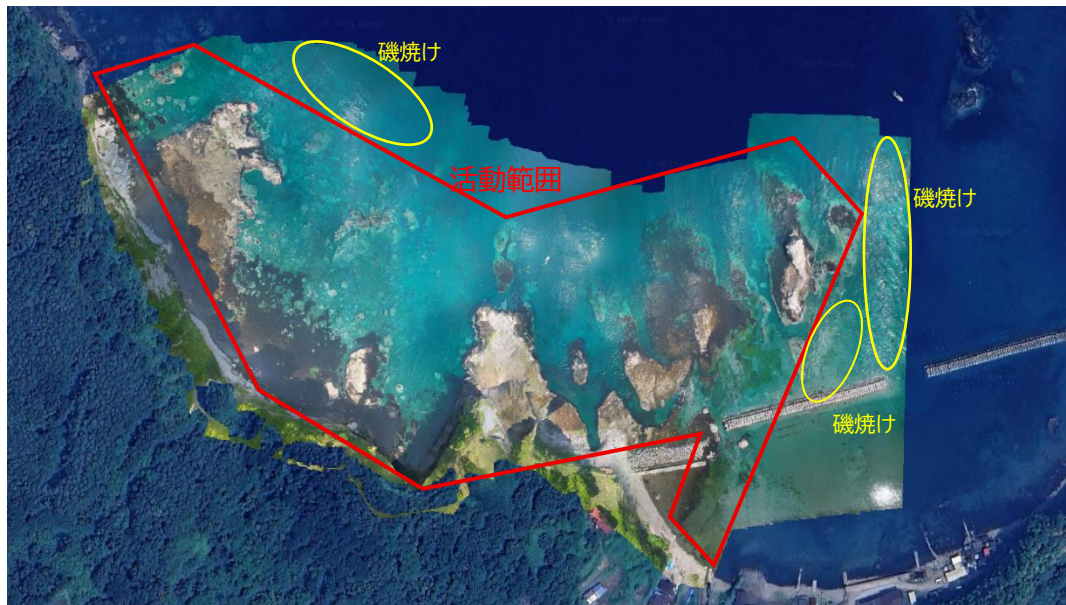


図 5 現在のドローン撮影画像（美国地区茶津地先、令和 7 年 5 月 28 日撮影）

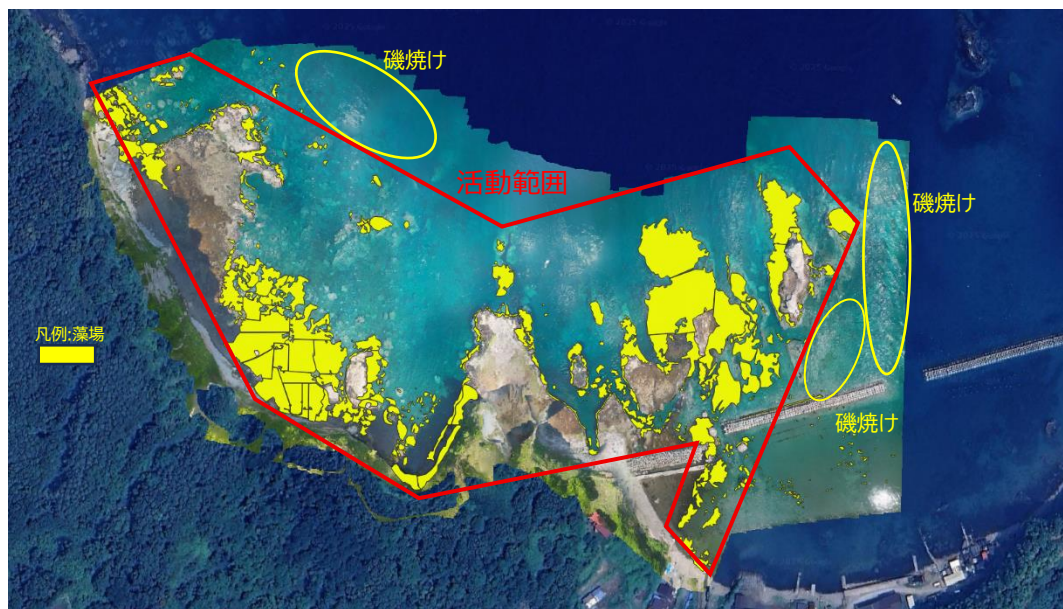


図 6 ドローン画像からの藻場判別結果（美国地区茶津地先、令和 7 年 5 月 28 日撮影）